



# 【自主 敬愛 勇健】 ～生徒が自信をもって生き生きと活動する学校～

## ＜「挨拶の向上」に向けた生徒会の活動＞ ～爽やかな挨拶を心がけましょう～

生徒会では、全校生徒の挨拶をもっとよくしようと、地域ボランティアの方々と一緒に小中学生と挨拶を交わしたり、生徒玄関の前で一人一人と挨拶を交したりする活動を行っています。校内での挨拶活動は「あいさつの木」と呼んでいます。はっきりとした声で進んで挨拶をした生徒は、本部役員からシールを1枚もらい、そのシールをイラストの木に貼っていく、実の豊富な木を完成させるという流れになっているからです。

挨拶はコミュニケーションの基本です。気持ちのいい挨拶は互いの会話を弾ませ、良好な人間関係の構築にもつながります。挨拶は強制されてするものではありませんが、幸せに生活していくためには欠かせないものです。校内では、先生方や来校された方に、元気よく「おはようございます」「こんにちは」と挨拶する生徒の姿があちこちで見られます。私も生徒と廊下ですれ違う度に、元気のいい挨拶をしてもらっています。私は、朝、交通安全指導をしながら生徒の登校を見守っていますが、進んで挨拶をしてくれる生徒が多くなってきていることは、生徒会の活動の成果の表れでもあると思っています。進んで、笑顔で、はっきりとした声で、爽やかに挨拶を交わす習慣を大切にしていきたいです。



地域の方との交流挨拶



挨拶運動「あいさつの木」



※朝、出勤する時間に、家の玄関前で、ペットを連れて散歩をしている地域の方と出会います。ご高齢の方ですが、挨拶の声がとても明るく、また、「おはようございます」の言葉に加えて、「気を付けて行ってらっしゃい」「今日も暑くなりそうだね」「毎日ご苦労さん」など声がけしてくださることに、一日の活力をいただき、感謝しています。時間がないので「そうですね」「ありがとうございます」などと、機械的に簡単に言葉を返してしまう自分を改善していきたいです。

## ＜合唱練習を始めました＞ ～各学年・学級の美しい合唱を楽しみにしています～

今年度の秋桜祭のテーマが「個性あふれる256色～伝説 超えるしか71(ない)!!」と決まり、当日に向けての準備が始まっています。秋桜祭1日目に予定されている合唱コンクールで発表する曲が決まり、音楽科の授業では、合唱練習にも取り組んでいます。現在は、各パートでの練習が主ですが、やがて美しい合唱曲に仕上がっていくことでしょう。音楽室や各学級の教室から歌声が校長室まで届いてくると、どうしても練習の様子を見に行きたくなり、体が動いてしまいます。これからは練習の妨げにならないように、静かにそっと見学させてもらいますので、全校のみなさん、よろしくお願いします。

人がもつ声質はそれぞれ異なります。異なった声質の音が合わさって、まとまりのある一つのパートの音を創り出し、数パートの音が合わさって、美しいハーモニーの響く合唱曲になります。合唱曲を完成させるためには、一人一人の役割がとても重要であり、誰一人の声も欠かすことはできません。合唱の完成までには時間がかかり、その中で大きな課題にぶつかることもあると思いますが、それを乗り越えてこそ、仲間との絆や団結力が強まります。「合唱は仲間のまとまりを表す」とよく言われますが、その理由がここにあります。

合唱の魅力は、多くの声が重なることで生まれるハーモニーの美しさだと思います。仲間と心をつなげて、聴く人すべてを感動させる合唱をつくってください。昨年の合唱コンクールでは、みなさんの合唱に感動し、涙があふれて止まりませんでした。今年も再び、体が震えるような感動を味わいたいです。

